

令和4年11月10日発行

No. 133



西之表市

議会だより

▲ 友好都市 長浜市で火縄銃大会開催！
種子島火縄銃保存会の試射に注目が集まりました。

目次

* 令和4年第3回定例会・第2回臨時会 *

P 2 … 定例会・臨時会 注目トピックス3

- ▶ 旧馬毛島小中学校跡地と川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の一部を処分へ
- ▶ 八板市長への問責決議を否決
- ▶ 自衛隊馬毛島基地(仮称)に空自救難隊の配置を求める意見書を可決

P 4 … 委員会審査の報告

P 7 … 一般質問

P13 … 議決結果の一覧

『令和4年第4回定例会』次回の予定

11月	29日	開会・本会議
	30日	一般質問
12月	1日・2日・5日	一般質問
	6日・7日	常任委員会
	8日・9日	予算特別委員会
	12日	各委員会
	14日	各特別委員会
	16日	最終本会議

本年3回目の定例会を 開催しました。

会期は、9月2日から9月30日までの29日間。西之表市議会は、報告1件を承認、15議案を可決、人事案件2件に同意した一方、1議案を否決しました。

また、前年度の歳入歳出決算の審査も実施し、7件全てを認定しています。

今定例会で、特に注目されたのは、「川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の一部」と「旧馬毛島小中学校跡地」の処分、そして馬毛島に残っていた市道路線の廃止について。この3議案の賛否をめぐって、最終本会議では討論が白熱し、夜8時過ぎまで延長に。いずれも原案のとおり可決という結果となりました。

議員が本市の未来に思いを馳せながら、各議案をどのように議論し、議決したのか。今号では、第2回臨時会（10月12日開催）での内容と併せて紹介します。

（議決結果の一覧は13・14ページ）

注目トピック その1

旧馬毛島小中学校跡地と川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の一部を処分へー馬毛島の市道も廃止に

9月9日、一般質問終了後に、市長から追加で議案が提出されました。

内容は、「自衛隊官舎の建設候補地である川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の一部の処分（議案第48号）」「旧馬毛島小中学校跡地の処分（議案第49号）」そして「馬毛島にある市道3路線の廃止（議案第50号）」の3議案。48号・49号の議案は総務文教委員会へ、50号の議案は産業厚生委員会へ付託され、慎重な審査を行いました。

特に総務文教委員会では、川迎旧たばこ育苗ハウス跡地と馬毛島での現地調査も実施。また、委員会室で実施した審査では、市長と副市長にも出席を求めました。それでもなお「審査のための時間がより必要」との意見が多数であったため、委員会では

は継続審査を議長へ申し出ることに。しかし、最終本会議で、その申し出への賛成者が少数となり、議案は当委員会へ差し戻し、再審査を経て、本会議で採決を行うこととなりました。

その後、本会議での議決前の討論では多くの議員が登壇。本市のまちづくりに対する声を市政に届けました。

議決結果は、3議案ともに、賛成7名・反対6名で、原案のとおり可決。

また、10月12日に開催された臨時会では、旧馬毛島小中学校跡地と川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の売却で得る収入や、自衛隊官舎用地にあるバイオ燃料製造施設の移設費用などが計上された補正予算を審議。この議案も、賛成多数で可決となりました。



現地調査を実施



総務文教委員会では、9月13日に、「川迎旧たばこ育苗ハウス跡地」と「旧馬毛島小中学校跡地」を調査。

注目トピック その2

八板市長への 問責決議を 否決

最終本会議で、議員発議により、八板俊輔西之表市長に対する問責決議についての議案が提出されました。

内容は、馬毛島への基地計画への賛否に関わらず、市民の期待や不安の解消に出来るような対応がなされていないことに対し、市長の責任を強く問うもの。議決の結果は、賛成6名・反対7名で否決となりました。



それぞれの議案の賛否をめぐり討論しました



川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の一部の処分（議案第 48 号）

→ **可決**

- 〳 **賛成** 〵土地の活用が見いだせないのは明白。自衛隊官舎を造り、地元経済の活性化を考えるのが有効だ。（濱島明人議員）
- 〳 **反対** 〵防衛省に払下げを行うメリットだけでなく、将来にわたり地域コミュニティに与えるインパクトなどを検討し、住民の理解を得ながら行政手続に入るといふ過程が抜け落ちている。（宇野裕未議員）
… 他に、長野広美議員・渡辺道大議員が反対討論

旧馬毛島小中学校跡地の処分（議案第 49 号）

→ **可決**

- 〳 **賛成** 〵学校跡地は老朽化して危険。市はその活用の代替案もない。防衛省からは、葉山漁港周辺に「交流の場」を設けるとの提案もある。跡地は処分して売払金を収入にした方がよい。（濱島明人議員）
- 〳 **賛成** 〵学校跡地は経年劣化で損傷が著しい。馬毛島で行っていた体験活動などは、防衛省が提案する「交流の場」の活用と相談しながら進めるのが現実的な対応ではないか。（杉為昭議員）
- 〳 **反対** 〵市民に対し説明不足。市長は、馬毛島基地反対を掲げて選挙に当選した。この議案提案自体が公約違反だ。（橋口好文議員）
- 〳 **反対** 〵学校跡地は「基地建設を認めない」とする市長の権限が及ぶ抵抗の手段と考えられていた。これを簡単に手放すことへ厳しく批判。（渡辺道大議員）
- 〳 **反対** 〵地方の混乱に乗じて、国が交付金で自治体と住民を懐柔することは許されない。市長は、基地建設反対の原点に返ってほしい。（橋口美幸議員）
- 〳 **反対** 〵市長は「市民に課題を提供し、市民に決定してもらいたい」と発言していた。学校跡地売却となれば、基地建設に関し国との交渉力は消失。防衛省からの提案を受け入れるしかなくなる。（長野広美議員）
… 他に、宇野裕未議員が反対討論

馬毛島の市道路線の廃止（議案第 50 号）

→ **可決**

- 〳 **賛成** 〵9月5日の本市と防衛省の協議の場で、馬毛島の市道は、その形態や機能が失われていること等の説明がされている。整備や管理は不可能で、行うとしても多額の予算が必要となる。（杉為昭議員）
- 〳 **反対** 〵市長は、基地建設への賛否を言える段階ではないにも関わらず、議案の提案理由として「馬毛島の市道は、将来において一般の交通に供される見通しが立たない」となぜ言えるのか。（宇野裕未議員）
…他に、橋口美幸議員が討論

*意見書の内容は、QRコードから確認できます。



提出しました。

書は、防衛大臣と鹿児島県知事

名で可決との結果に。この意見

議決では、賛成7名・反対6

担任してもらうよう、国に要望。

島北部地域の急患搬送の任務を

に空自救難隊を配置し、南西諸

内容は、馬毛島基地（仮称）

して提出されました。

を求める意見書」が追加議案と

地（仮称）に空自救難隊の配置

別委員長から「自衛隊馬毛島基

最終本会議で、馬毛島対策特

〵注目トピック 〵

その3



自衛隊馬毛島基地（仮称）に空自救難隊の配置を求める意見書を可決

委員会

審査

の

報告

告

議案は、各委員会で慎重に審査された後、本会議で議決されます。

予算特別委員会

議長を除く全13名の議員で構成

*委員長 長野広美

*副委員長 竹下秀樹

一般会計補正予算

第3回定例会で可決した補正予算（第4号）では、歳入歳出の総額に、それぞれ2億3791万2千円を追加。

また、最終本会議では、コロナ禍における各種価格高騰への対策を行うための補正予算（第5号）も可決。

これらの補正により、一般会計の歳入歳出予算の総額は、116億7718万5千円となりました。

その他の予算も可決

13ページの「議案第42号」第47号」の議決結果をご覧ください。

＼ 主な歳入はコレ！ ／	
固定資産税	県担当分が増額 ▶2,685万3千円 増額
地方交付税	見直し調整分として減額 ▶2,016万1千円 減額
寄附金	一般寄附金と指定寄附金を増額計上。それぞれ教育関連に配分！ ▶ 一般寄附金に110万円、指定寄附金に30万円を計上
民生費 国庫補助金	国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を計上 ▶ 1億5,356万7千円 増額 （※歳出に記載の社会福祉総務費に対応）
＼ 主な歳出はコレ！ ／	
介護保険 事業費	認知症高齢者グループホームの増築の費用などを補助 ▶ 4,115万1千円を追加計上 …地域介護基盤整備事業 
農業経営 合理化対策 事業費	今年度の認定新規就農者へ畜舎整備の一部を助成 ▶ 750万円を追加計上 …経営発展支援事業 
畜産業費	肉用牛の畜産振興基金を増額！今年度の貸付頭数見込みは40頭 ▶ 919万7千円を追加計上 …畜産振興資金円滑化事業
商工振興費	雇用を生み出すモデルの構築を行う事業者へ、初期投資の一部を補助 ▶ 2,100万円を追加計上 …地域経済循環創造事業
産業創出費	特定地域づくり事業協同組合の設立と運営を補助 ▶ 167万4千円を追加計上 …特定地域づくり事業 
学校管理費 (中学校費)	来年1月から3月までのスクールバス運行业務委託料を計上 ▶ 84万5千円を追加計上 …スクールバス管理事業 
開発総合 センター 管理費	故下野敏見氏のすべての書籍・資料等が本市へ寄贈！搬送などの経費を計上 ▶ 98万1千円を追加計上 …開発総合センター管理運営事業
社会福祉 総務費	住民税非課税世帯と家計急変世帯を支援！1世帯あたり5万円を支給 ▶ 1億5,356万7千円を追加計上 …電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 （※11月上旬に支給開始）

総務文教委員会

委員長 竹下秀樹

副委員長 宇野裕未

委員 鮫島市憲・橋口美幸

川村孝則・濱島明人

橋口好文

西之表市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

職員の育児休業等の取得要件が緩和されました。これは、国家公務員の育児等と仕事の両立支援のための措置を、本市でも同じ措置を講じるために改正。

これにより、非常勤職員が育児休業を取得する際に、任期の更新の定めがある場合などの取り扱いや、配偶者と交互に育児休業を取得する場合の開始日などの要件が緩和され、さらに取得しやすくなりました。

産業厚生委員会

委員長 渡辺道大

副委員長 杉 為昭

委員 長野広美・河本幸男

下川和博・田添辰郎

遠藤建次郎

西之表市企業等立地促進条例の一部を改正する条例の制定について

西之表市企業等立地促進条例は、市内で事業所を新設・増設しようとする事業者に対し、奨励措置を講じることで、企業の育成や誘致を促し、産業の振興と雇用の増大を図ることを目的としています。

今回の改正で、奨励措置の対象となる業種を、規則で定めることに（下記に記載）。

なお、奨励措置とは「事業所設置奨励金」「雇用促進奨励金」

「事業所賃借奨励金」の交付が主な内容となっています。

奨励措置の対象となる業種とは？

- ① 製造業
- ② 情報通信業
- ③ 運輸業、郵便業のうち道路貨物運送業、倉庫業または梱包業
- ④ 学術研究、専門・技術サービス業のうち学術・開発研究機関
- ⑤ コールセンター事業
- ⑥ 宇宙関連産業
- ⑦ そのほか市長が特に認める業種

決算特別委員会

委員長 田添辰郎

副委員長 橋口美幸

委員 宇野裕未・杉 為昭

濱島明人・下川和博

遠藤建次郎

令和3年度の一般会計と、各特別会計・企業会計の実績である「決算」を審査しました。

決算とは、前年度の予算執行の実績のこと。審査では「正確な内容か」「収入・支出が適切に行われているか」「各事業が効果的に運営されているか」などを確認しました。

ここでは、一般会計の決算の内容と、それをどのように評価したのかを紹介します。

決算の審査までの流れ

- | | |
|--------|------------------------|
| 前年度4月～ | 予算の執行 |
| 本年度5月末 | 予算の執行を終了 |
| 6月 | 実際の収入・支出を集計し、決算の書類を作成 |
| 7月 | 監査委員による監査 |
| 9月 | 議会で委員会に付託
委員会で審査を実施 |

← 次ページで

一般会計の決算をご報告！

#

市政を問う

一般

質問



13名の議員が、

一般質問を行いました。

*顔写真の下のQRコードから、

動画（Youtube）を視聴できます。

▼質問順と掲載ページはこちら←

1	遠藤建次郎	議員	・ P 7
2	杉 為昭	議員	・ P 7
3	宇野 裕未	議員	・ P 8
4	濱島 明人	議員	・ P 8
5	下川 和博	議員	・ P 9
6	田添 辰郎	議員	・ P 9
7	鮫島 市憲	議員	・ P 10
8	河本 幸男	議員	・ P 10
9	渡辺 道大	議員	・ P 11
10	橋口 美幸	議員	・ P 11
11	橋口 好文	議員	・ P 12
12	竹下 秀樹	議員	・ P 12
13	長野 広美	議員	・ P 13



遠藤建次郎 議員



特定地域づくり事業協同
組合制度について

【問】事業概要と取組状況は。

【答】4事業者以上で協同組合

を設立した場合、県や市から財

政支援を受けられる。必要な時

に労働者を派遣でき、組合で雇

用される労働者は通年での雇用

が約束される。

現在、飲食業・観光宿泊業・

農業・介護関係で設立に向け取

り組んでいる。（経済観光課）

農業振興について

【問】澱粉・焼酎原料用「みち

しずく」の導入の見通しは。

【答】県農業開発総合センター

熊毛支場で適応性の試験を実施
中。令和5年度に、現地での適
応性試験を行う。本格普及は令
和6年度以降と考える。

（農林水産課）

自衛隊馬毛島基地（仮称）

関連について

【問】賛否の表明と、交付金の

利活用に向けた今後の取組は。

【答】現時点での同意不同意は

言えない。最も優先すべき使命

は、市民の安心安全の確保、期

待の声に応える最大限の努力を

尽くすことである。

市内の各団体からの要望を市

政に反映する考えであり、馬毛

島の市道・学校跡地を含めた交

付金について、防衛省から提示

があれば対応を考える。受け取

る意思については、国からの提

示があれば対応を考えたい。

（市長）



杉為昭 議員



新型コロナウイルスの第7波
による本市の状況と影響に
ついて

【問】医療機関の状況をどのよ
うに受け止めているか。

【答】医療機関の皆様には、最

前線で奮闘されていることに感

謝申し上げる。医療機関では、

ベットの拡充や、外来診療を一

時電話診療のみとするなどの対

応をとっている。（健康保険課）

【問】どのような連携をもって

対策に取り組んだのか。

【答】PCR検査等への職員派

遣を行うなど対応した。

（健康保険課）

【問】 今後の予測と対策は。

【答】 予測は難しいが、政府の方針や県の動きを見極めていきたい。また、市民の皆様へ、引き続き感染防止対策への協力をお願いしたい。（健康保険課）

本市におけるサーフィン及びフラダンスについて

【問】 市の考えと今後の取組は。

【答】 両方とも島の観光のために必要なアイテム。引き続き関係者と十分に協力し盛り上げていきたい。（市長）



第一次産業について

【問】 どのようなビジョン・視点をもって対策を考えているか。

【答】 第六次長期振興計画・後期基本計画で、農業振興施策と

して「農業農村の整備」「産地づくり」「多様な担い手育成」「農地利用の最適化」のそれぞれに関連する取り組みを行う。

（農林水産課）

▼ これも質問しました！

「市長の馬毛島問題についての賛否について」「施設の管理について」



宇野裕未 議員



米軍基地再編交付金について

【問】 馬毛島だより12号で、岩国飛行場周辺の視察等の報告がされている。岩国市の国庫支出金に占める基地関係の補助金の割合は、2004年度は54.3%。「5割以上を占める防衛関係の予算に、公共事業が依存している」という分析があり、その背景も含めて市民に正しく情報共有されるよう対策し

てほしいが如何か。

【答】 必要な情報については、今後も適宜提供したい。（市長）

基地経済のもたらす影響について

【問】 沖縄県では、「基地返還」に伴う経済効果が、基地があった時よりも、返還後の活用によって、32倍となつていくとの報告がされている。現在、本市の市民の中にある「基地経済に期待する声」と全く逆の結果が出ているが、これをどう捉えるか。

【答】 その地域にあった経済の構築は、「我々の持つ土地の資源を利用しながら」という考え方を常に持つていなければと考える。（市長）

▼ これも質問しました！

「小規模小学校の運営について」



濱島明人 議員



地域猫・野良猫対策の市の取組について

【問】 前回の一般質問で示した多頭飼育をしている生活困窮事例に対する市の対応は。

【答】 調査をしたが、当事例を確認できなかった。（市民生活課）

【問】 示した事例は現実問題。この事態に対し、市長の考えは。

【答】 市として、さらに取り組むよう考える。（市長）

ゴミの不法投棄について

【問】 衛生自治会の加入率は。

【答】 約95%。（市民生活課）

【問】 不法投棄禁止の看板設置数と相談件数は。

【答】 看板は81箇所を設置され、令和4年度は6件の相談があった。(市民生活課)

【問】 市道に不法投棄されている箇所があるが、ゴミの処分は。

【答】 市道上にあると確認したうえで対応する。(建設課)

西之表市民への商品券無償配布について

【問】 なぜ商品券無償配布ではなくプレミアム付商品券にしたのか。

【答】 より市内経済へ効果があると思込んでいる。(経済観光課)

馬毛島問題について

【問】 市長が反対派団体と締結

している政策協定は有効か。

【答】 生きている。(市長)

【問】 市長は基地経済に頼らない考えだが、再編交付金を受け取らないのか。

【答】 防衛省から動きがあれば適切に対応する。(市長)

【問】 旧馬毛島小中学校跡地・自衛隊官舎建設候補地の売却は。

【答】 検討する。(市長)

▼ これも質問しました！

「燃ゆる感動 鹿児島県国体に向けての市の取組について」「自衛隊馬毛島基地(仮称)建設について」



下川和博 議員



馬毛島問題について

【問】 馬毛島小中学校跡地について、現在の状況と今後どのような対応をするのか。早急に払下げ、基地整備に協力すべきではないか。

【答】 防衛省は取得したい意向がある。現存する遺物や遺構は、葉山港周辺の交流の場への移転の可能性や、基地建設が進まなかった場合、本市の返還の意向が聴取されることを確認している。このことから、売却を検討するに至った。(市長)

【問】 市道認定している3本の市道について、どのような対応をするつもりか。廃道にする意思があるのか。

【答】 これまで調査・管理がままならず、実態の把握が困難。タストン社と防衛省から廃道の

手続を取るよう求められている。事実上、市として管理を行う見込みが立たない状況。よって、廃止の手続を取るか検討している。(市長)

▼ これも質問しました！
「教育について」



田添辰郎 議員



馬毛島の交付金の活用方法の決定システムについて

【問】 米軍再編交付金・関連補助金の利用はどう決定するのか。

【答】 議会・市民の意見を聞くことになる。そのうえで、庁内での計画策定作業を進めていく必要があると考える。(企画課)

【問】 交付金等の利用方法を検

討するための協議体は作るのか。

【答】 一般的にはそのような手法が考えられる。(企画課)

【問】 計画の策定段階への議員の参加はどうか。

【答】 議会の意見を踏まえて検討が必要。(企画課)

【問】 大学教授等の有識者やコンサル等の参加はどうか。

【答】 専門性が必要な場合もあるうかと思う。議会を含め広く意見を伺いながら検討する必要がある。(企画課)

【問】 20年、30年後を見通したものを作するため、市民の参加を広く望む。これまで18年間は公共事業がおろそかになっている。公共事業は、次の世代への借金ではなく、つなぐ財産である。

▼ これも質問しました！

「再生エネルギー事業者への預託金制度の導入について」「生活援助従事者研修制度について」「公約違反について」



鯨島市憲 議員



サトウキビ生産を主体とした農業振興を図るための施策の確立について

【問】 「はるのおうぎ」の4・5年期作付け状況と次年度以降の推進は。また、輪作体系として、甘藷類等での対応について伺う。

【答】 159haの作付けで、全体の23%を占める。生産者からの評判も良く、今後作付面積も増えていくことが予想される。

また、甘藷の収穫後にさとうきびの新植を行い、数年後に甘藷へ戻す輪作体系が一般的に定

着。連作障害を来さないよう技術者と連携し、指導・周知を図っている。(農林水産課)

【問】 さとうきびのトップは牛馬の餌等に活用し、その厩肥に浜砂を加え堆肥化し畑に施すなど、種子島の土づくりの原点を顧みる必要がある。また、はるのおうぎはバガスの量が多いことが課題。市の考える方策は。

【答】 補助事業の活用や単独事業により、堆肥の投入等を積極的に促進。引き続き畜産農家へのバガス利用等により、循環型農業の促進を図る。(農林水産課)

種子島公設地方卸売市場の現状と将来の展望について

【問】 近年の新規生産者の動向は。

【答】 令和3年度決算では20名程度増える見込みだが、全体の

出荷者は年々減少傾向。

(農林水産課)

【問】 現和物産館の閉鎖について、継続策をどう捉えているか。

【答】 関係課で協議を進め、存続に向けて積極的に支援をしている。(経済観光課)



河本幸男 議員



馬毛島について

【問】 市長は、今定例会の所信表明で、行政手続を適正に進めると発言。馬毛島の市道・学校跡地と、本市の隊員宿舍予定地の取扱いはどうするのか。

【答】 下西の隊員宿舍予定地をはじめとする議案を、今定例会で追加提案したい。(市長)

学校における大木等樹木の管理について

【問】 曾於市で樹木の枝が落下し、校長先生が亡くなる痛ましい事故が発生した。本市の学校の樹木管理に、十分な予算措置をしてほしいがどうか。

【答】 現予算で大木等の剪定などを実施。予算不足が生じた場合、調査・対策に応じて対応したい。（市長・教育委員会総務課）

海岸清掃について



【問】 観光シーズンは、目立つところを中心に清掃してほしい。また、市民の清掃活動も実施してほしい。

【答】 効率・効果的な漂着ごみ収集ができるよう検討したい。観光スポットは、時期に応じて心がけるよう美化に努める。

（市長・市民生活課）



渡辺道大 議員



インボイス制度について

【問】 来年10月から導入されるインボイス制度は、中小企業や個人事業者に影響があると聞く。本市ではどうか。

【答】 インボイス制度の申請は任意だが、申請しないと適格請求書の発行が出来ないため、取引先が取引を停止する可能性がある。また、売上1千万円以下でも消費税の納税義務が発生する。（経済観光課）

【問】 シルバー人材センターの配分金には消費税が含まれる。会員がセンターが納税しなければならず、新たな負担が生じると思うが、どう考えているか。

【答】 会員負担となれば、低額の配分金がさらに少なくなり、センターが支払う場合の負担は約300万円に。県シルバー人材センター連合会が、国・県に要望書を提出している。本市でも機会を捉え、要望が認められるよう支援する。（高齢者支援課）

【問】 会員の配分金減少には、単価を見直す必要があると考える。県の最低賃金を下回らないよう措置が必要ではないか。

【答】 単価のこともあるが、連合会の要望が受け入れられるよう、支援したい。（市長）

これも質問しました！

「サトウキビ生産について」「馬毛島問題について」



橋口美幸 議員



コロナ対策について

【問】 爆発的な感染拡大は「国の水際対策の緩和や、感染対策の緩みなどが原因」とする専門家の指摘がある。本市での発症の要因をどう分析するか。また、国の方針転換に、自治体として対応する場合の課題は何か。

【答】 夏休み以降に人の流れが増えたことが要因と考える。政府の方針や県の動きを見極め、市民への情報提供をしっかりとっていく。（健康保険課）

持続可能な再生エネルギーについて



【問】 種子島森林組合で、木材チップの島外出荷を行っているが、地元でチップを活用する計画の検討も必要ではないか。

【答】 種子島森林組合等と連携

し、バガスや間伐材による島内の脱炭素化や、森林の健全化など検討を開始している。

(経済観光課)

馬毛島問題について

【問】市長の公約への思いを問う。

【答】環境アクセスでは、環境保全措置が十分になされるか注視が必要。市民の不安解消にも至っておらず、同意不同意は言えない。優先すべきは、不安解消と期待の声に応える努力を注ぐことであると考えてる。(市長)

▼これも質問しました！

「市営住宅建設の進捗状況について」



橋口好文 議員



農業振興について



【問】農業用生産資材の高騰に対する本市の支援策を問う。

【答】今定例会で、甘味資源作物を含め、肥料高騰等により影響を受けている全ての耕種農家を対象に、肥料の高騰率を3割と設定して、高騰分の3分の1以内を助成する予算を計上。

畜産では、飼料価格高騰の影響を受けている農家へ、乳用牛で1頭あたり最大3万円、肉用牛で1頭あたり最大2万円、養鶏は1羽あたり最大200円を助成(※乳用牛・肉用牛は1頭あたりの条件付加算金として5千円、養鶏では1羽あたり50円を含む)。茶業では、燃油高騰により影響を受けている生産組合または生産農家へ、令和4年度で使った燃油費用の高騰分の2分の1の助成を行う。(農林水産課)

▼これも質問しました！

「都市公園の管理について」「馬毛島問題について」



竹下秀樹 議員



原油・物価等高騰対策に係る支援金について

【問】今後、再度の物価等高騰対策事業に充当する交付金の交付が見込まれる。

その際は、一般の光熱費等を含む物価高騰の影響を大きく受けていると思われる「高齢者入所施設・通所施設」等に対する事業規模に応じた給付金も、その充当事業として検討すべきと考えるが、見解は。

【答】現在、県内でそのような事業を行っている市町村はないが、全国では実施しているとこ

ろもあるので、本市も検討していきたい。(高齢者支援課)

馬毛島への自衛隊施設整備関連について

【問】本市がこれまで同様、あるいはこれまで以上の住民サービスとインフラ整備の充実を図ろうとするなら、基地関連交付金の活用以外に財源を確保できる見通しはあったのか。

【答】これまで大変厳しい財政状況の中で努力している。既存の交付金やふるさと納税など、様々な財源の確保に努めており、引き続き最大限の努力を行いたい。(企画課)

▼これも質問しました！

「港町再生について」「AEDの電極パッドについて」「コロナ禍における避難所運営について」





長野広美 議員



通信環境の維持改善に向けて
の取組について

【問】 スマホ保有率は、60代で79%、70代で53%、80代以上は19%（総務省の調査より）。世代ごとに通信の利用状況は異なり、市民の固定電話の故障対応窓口もつながりにくい事例が多い。スマホなど通信携帯の利用状況とそれに関する悩み事などのアンケート調査を求める。



【答】 平成27年度まで市民アンケートで状況把握を行っていた。今後把握に努めたい。（企画課）

馬毛島問題について

【問】 全国の基地周辺住民によ

り爆音訴訟が行われ、昭和40年代から住民が訴えている。馬毛島では真夜中3時まで訓練が計画されており、馬毛島の滑走路に沿って、最大騒音値は130デシベルとなる。巨大な港湾施設が整備される計画も。漁業権放棄の手段を含め、十分に市民に説明ができていないのではないか。

【答】 騒音の最大値データは、本市から防衛省へ要求し出された。環境アセスで公開され、誰でも閲覧できる。また、港湾施設計画でも、漁場の消失は伴うと認識している。そのことも、環境アセスの準備書や、防衛省の確認事項でもふれている。

（市長）

▼ これも質問しました！

「健康な子どもたちの育成のための食育施策について」「農業資材高騰対策について」

議 決 結 果 の 一 覧 ※ 14 ページに続きます。

全会一致で議決！ 議案等の一覧

		議決結果
議案36	西之表市公平委員会委員の選任について	同 意
議案37	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案38	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第3号）	可 決
議案39	西之表市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案40	西之表市企業等立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案41	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第4号）	可 決
議案42	令和4年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案43	令和4年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案44	令和4年度西之表市地方卸売市場特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案45	令和4年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案46	令和4年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案47	令和4年度西之表市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議案51	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第5号）	可 決
認定3	令和3年度西之表市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定4	令和3年度西之表市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定7	令和3年度西之表市水道事業会計決算認定について	認 定
報告13	令和3年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告について	（報告のみ）
報告14	専決処分の承認を求めることについて（和解及び損害賠償の額を定めることについて）	承 認

賛否が別れた！ 議案等の一覧 ○は賛成、●は反対。		議 員 名														議決結果	
		長野 広美	鮫島 市憲	橋口 美幸	渡辺 道大	宇野 裕未	杉 為昭	河本 幸男	濱島 明人	下川 和博	遠藤 建次郎	竹下 秀樹	田添 辰郎	橋口 好文	川村 孝則		
認定 1	令和3年度西之表市一般会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	認定	
認定 2	令和3年度西之表市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
認定 5	令和3年度西之表市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
認定 6	令和3年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
議案 48	財産の処分について (※川迎旧たばこ育苗ハウス跡地一部の処分)	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
議案 49	財産の処分について (※旧馬毛島小中学校跡地の処分)	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
議案 50	西之表市道路線の廃止について (※馬毛島の市道3路線の廃止)	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
議案 52	自衛隊馬毛島基地（仮称）に空自救難隊の配置を求める意見書の提出について	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
議案 53	八板俊輔西之表市長に対する問責決議について	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	-	否決
請願 9	馬毛島基地（仮称）に空自救難隊の配置を求める請願書	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	採択
請願 10	安心できる暮らしのために真夜中のデモフライト実施を防衛省に求める請願書	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	-	不採択	
議案 54	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第6号）	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決

※ 議案第 54 号は、10 月 12 日に開催した臨時会で議決しました。

表紙の 写真

10 月に滋賀県長浜市で開催された火縄銃大会。種子島火縄銃保存会の迫力ある試射の音が響き渡りました。写真は、長浜市職員の提供。レンズ越しに、私たち友好都市へ送られる温かい想いが感じられます。

議長の主な会務報告

9 月 11 日 種子島中学校体育大会
10 月 3 日 熊毛地区消防組合議会
種子島産婦人科医院組合議会
種子島地区広域事務組合議会
種子島屋久島議会議員大会
長浜市友好都市歓迎会
8 月 7 日 長浜火縄銃大会
8 月 24 日 小規模市の地域戦略を考える
地方議会ネットワーク議長会
県知事・県議会要望活動
11 月 8 日 離島振興市町村議会議長会
全国大会
県市議会議長会臨時総会・
国会議員との意見交換会

編集後記

議会では、十分に議論を尽くした上で議員の賛否を問う採決で結論を出します。その運営手続は細かく定められています。例えば、9 月議会では、本会議における議決等への賛否を問う場面で、起立採決と電子採決の 2 つの方法をとりました。これは、議会運営委員会であらかじめ採決方法を話し合い決定していたからです。

さて、今定例会では、議案第 48 号と第 49 号を付託された委員会では「継続審査とすべき」と決していました。しかし、本会議において、議長が継続審査に付するが諮ったところ、本会期中に議決すべきとの賛成者が多数となり、各議案の再審査と議決を行うため、最終本会議の終了時刻は午後 8 時過ぎとなりました。大変重要な議論でしたので、西之表市議会 YouTube でもご覧ください。（広美）

発行／西之表市議会

編集／議会報編集委員会

発行責任者：西之表市議会

議長 川村孝則

〒 891-3193

鹿児島県西之表市西之表 7612 番地

E-mail：

gikai@city.nishinoomote.lg.jp

TEL 0997-22-1111(内線 351)

FAX 0997-22-0295